

ASO 田園空間博物館（道の駅阿蘇）

西小園地区のサテライト紹介

西小園牧野の取り組み

すすきの迷路（手前）とかぶと岩展望所（奥）



熊本地震で被害を受けたかぶと岩展望所



川上区長（左）と小島組合長（右）

私たちはASO田園空間博物館は、設立当初より「阿蘇の魅力」を、そこに住む人々と共に発掘し、この地を訪れる人々にそれを伝えることでこの地の新しい未来を創造していく」という活動を続けてきました。

その中で活動の主軸となっているのが地域資源である「サテライト」です。現在、94のサテライトが登録されており、市民の皆さまと共に将来につないでいくための活動を行っています。

今回は今年7月にサテライト登録された「西小園牧野」と「小島俣の句碑」（阿蘇市西小園）について紹介します。

紹介するにあたり、西小園原野組合長の小島良邦さんと西小園区長の川上龍王さんにお話を伺いました。

西小園牧野

西小園牧野はおよそ1100ヘクタールの原野です。その広大な敷地の中には、草原地帯のほか、森林地帯や遊歩道などがあり、絶景スポットとしても有名な「かぶと岩展望所」や期間限定で一般開放される「すすきの迷路」もこの牧野内にあります。そのため牧野組合の活動は野焼き、輪地切り、輪地焼きのほか、展望所や迷路の管理、さらには花の植え付けなど広範囲に及びます。

組合員の平均年齢は67歳と高齢化が進んでいますが、たくさんの人に展望所や草原で楽しんで欲しいという想いから、精力的な活動を続けています。

毎年夏から秋にかけて一般開放している「すすきの迷路」は、平成22年の開始以来、徐々に知名度が高まり、今では子どもたちの遊び場となるだけでなく、結婚式の前撮り写真地として選ばれるなど、年代を問わず多くの人に親しまれています。

7月になると組合員が集まり、迷路状に路を刈り込みます。最後に「すすきの迷路」と書かれた手作りの看板を設置すると作業完了です。夏の暑い時期での作業ですが、組合員が総出で行うため短時間で終えることができます。

現在多くの観光客が足を運んで「かぶと岩展望所」は、昭和63年に実施された「ふるさと創生事業」で整備されました。

阿蘇谷を見渡せる絶景スポットの一つとされ、雲海観賞スポットとしても人気を博しています。

かぶと岩展望所の道路向かいにあるトイレの清掃を担当するのも西小園原野組合。当番の2名が2日に1回点検・清掃を行っています。維持管理の際、苦労するのは水の汲み上げです。1.3キロメートル下から水を汲み上げ、地下を通してトイレまでつなげています。橋が通っている部分は、欄干に沿ってパイプを伸ばしており、冬場に凍りつかないよう熱線をつけて対処しているそうです。

平成28年の熊本地震では東屋や展



手作りの看板を設置

望所の一部が崩れるなどの被害を受けました。その後、原野組合メンバーが復旧作業を行い、再び立入りができる状態になりました。今年の夏には新しい展望所も完成し、現在では多くの人が写真撮影や絶景の観賞に訪れています。

今年度から道の駅阿蘇などが主催する牧野ガイド事業の受け入れも開始しました。

牧野内には九州自然遊歩道を含む周遊ルートがあり、今後はサイクリングやトレッキングなどを楽しむことができるようになります。

小島組合長は「環境省の力もかりて立派な周遊ルートができています。これからもたくさんの方に喜んで頂ける場所を作っていきたい。」と話していました。



小島偉邦の句碑

小島偉邦の句碑

西小園地区内にある小島偉邦の屋敷跡に偉邦を称える句碑が建っています。

偉邦は西小園出身の明治生まれの歌人で、俳句雑誌『ホトトギス』にも入選する実力を持っていました。俳人・小説家である高浜虚子ともつながりがあるなど、生前は精力的に活動していたそうです。

句碑は昭和57年に阿蘇郷土の会によって造られました。

サテライト募集中!

「サテライト」とは、市民の皆さまが「地域の宝」として守り続けている自然・景観・風景・歴史文化のことです。

ASO田園空間博物館では、サテライトを募集しています。興味のある人はお気軽にお問い合わせてください。私たちと一緒に元氣な阿蘇を創っていきましょう。

ASO田園空間博物館

☎ 355・5077